

科目名	地域・在宅看護論Ⅱ	開講年次	2年次前期	
		講義時間(単位)	30時間(1単位)	
講師名	中馬里美・大村友美・川野さやか			
授業目標	地域・在宅看護論の対象と基盤となる概念を理解する 人々を支える地域包括システムを理解する。 在宅看護の各時期と概要を学び在宅介入のおもな特徴と目的について理解する			
使用テキスト	地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア(ナーシング・グラフィカ)			
回数	授業内容	授業形態	担当講師	
1～5	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 地域アセスメントと行政との連携 地域包括ケアシステムの概要 (介護予防・生活支援・社会参加) 地域包括ケアシステムにおける多職種・他機関連携 地域包括ケアと地域ケア会議 地域包括支援センターの機能について 地域・在宅看護論に関連する法と制度と施策 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	講義	中馬里美	
6～14	入退院時の訪問看護の役割 施設入退所時の訪問看護師の役割 在宅看護を支える訪問看護 訪問看護の対象と提供方法 子供の在宅療養を支える訪問看護(社会制度含む) 在宅難病者を支える看護(社会制度含む) 終末期・グリーフケア 災害時における在宅療養と家族の危機管理	講義	大村友美	
15	在宅看護における安全と危機管理(ICT救援隊)	講義	川野さやか	
16	試験	試験		
評価方法	筆記試験100点(大村先生40点、中馬先生40点、訪問20点) 提出物、出席状況、授業態度			
備考				